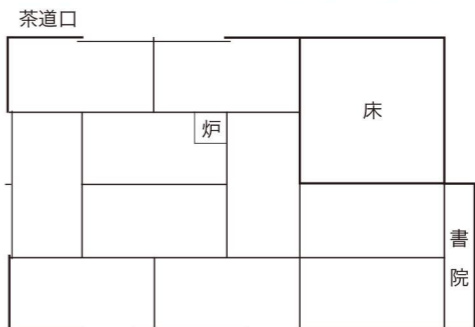


實性寺 表千家茶道の8月稽古

残月亭写し「聴松軒」での稽古

聴松軒

《聴松軒広間》



【8月の稽古】

〈5回に分けて〉

- 一、初炭
- 一、後炭
- 一、盆香合
- 一、濃茶
- 一、茶通箱
- 一、薄茶 亭主相伴

【道具組】

- 〔掛物〕 「涼風」画讃
- 〔花入〕 竹釣り舟
- 花 せみ籠
- 〔釜〕 「縞芦」「金水引」「白むくげ」「宗且むくげ」「ぶつそう花」
- 風炉 惺斎好刷目琉球風炉
- 敷瓦 惺斎好ツボツボ透し丸 搔合せ
- 〔水指〕 木地「釣るべ」
- 〔棚〕 仁清写細秋草染付 桑小卓



- 〔香合〕 木地 茄子に虫
- 炭斗 平竹炭斗
- 羽根 白鳥
- 火箸 少庵型
- 〔茶人〕 膳所 尻張
- 仕服 綾花紋
- 〔茶碗〕 唐津「桑原写し」
- 替 黒 馬だらい
- 京焼 秋草
- 〔茶杓〕 「空蟬」 喝堂老師
- 春慶 雪吹
- 面中次網目
- 平 エフゴ
- 竹 引切り
- 萩 サザエ
- 蓋置
- 建水
- 萩 サザエ



- 〔菓子器〕 青釉 松孤軒松葉
- 〔干菓子器〕 曲 杉木地
- 〔菓子〕 かき合わせ筏
- とらや「下染」「初秋」
- 鶴屋吉信「氷梅」
- 干菓子 「麦落雁」「玉天」
- 〔蓑盆〕 桐 手付き
- 〔火入〕 染付
- 蕨入 切泊 たとう
- 〔濃茶〕 「祥雲の昔」 柳桜園
- 〔薄茶〕 「珠の白」 柳桜園



【稽古の内容】

- 盆手前 冷水での点茶



ポットに氷水を入れ冷水で茶を点てるのは、邪道とはありますが茶を常よりも少し多く、冷水は常よりも少なめに、そして茶筌は少し強く多めに振った方がおいしくなるようです。